

TOYOTA ENVIRONMENTAL CHALLENGE 2050



「人とクルマと自然が共生する社会」を目指して。～トヨタ環境チャレンジ2050～

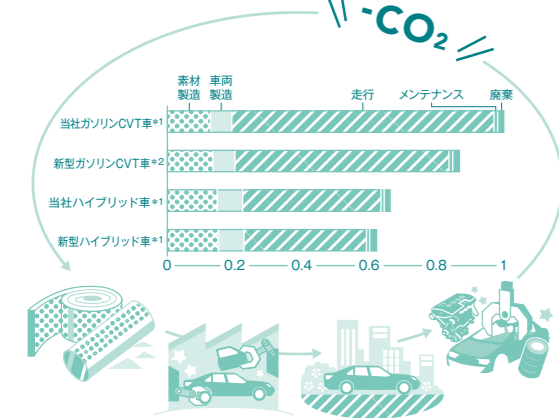
トヨタは、温室効果ガスに起因する異常気象、生物多様性の喪失、水不足など、深刻化する地球環境の諸問題に対し、これまで幅広い取り組みを推進してきました。今後もクルマの環境負荷をゼロに近づけるとともに、地球・社会にプラスとなる取り組みを通じて、持続可能な社会の実現に貢献するための6つのチャレンジ(ゼロへのチャレンジ と、プラスへのチャレンジ)を実施していきます。

<https://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/environment/challenge2050/>



CO₂ “0” へのチャレンジ ～環境負荷をゼロに近づけるためのトヨタの取り組み～

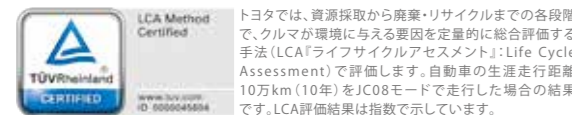
CO₂ 0 ライフサイクルCO₂ゼロチャレンジ



トヨタはクルマの一生のCO₂削減をデザインしています

走行時だけでなく、製造から廃棄・リサイクルにいたるクルマのライフサイクル全体で、CO₂排出量を削減するための取り組みを行っています。

*1. 1.8L *2. 1.2L



トヨタは、資源採取から廃棄・リサイクルまでの各段階で、クルマが環境に与える要因を定量的に総合評価する手法(LCA「ライフサイクルアセスメント」: Life Cycle Assessment)で評価します。自動車の生涯走行距離10万km(10年)をJC08モードで走行した場合の結果です。LCA評価結果は指数で示しています。

トヨタが乗用車を対象に実施しているLCAの手法は、ドイツの第三者認証機関テュフラインランドによるISO14040/14044規格に基づく審査・認証を受けました。

CO₂ 0 新車CO₂ゼロチャレンジ



燃費の良いクルマを選べると、CO₂の削減に協力できます

クルマは、燃費が良くなればなるほど、CO₂の排出量を削減することができます。トヨタでは、あらゆる部品の軽量化や効率化により燃費を向上させることで、CO₂排出量の削減に取り組んでいます。



CO₂ 0 工場CO₂ゼロチャレンジ



トヨタはエコカーだけでなく、エコ工場にも力を入れています

カローラスポーツをつくる工場では、テニスコート60面相当のソーラーパネルを導入し、一般家庭約500軒分*3の再生可能エネルギーを発電して、工場の動力に活用しています。さらに、新塗装技術によるCO₂排出量の大幅な削減で、第63回大河内記念生産賞*4を受賞するなど、生産技術の開発や日常改善によるCO₂排出削減に日々取り組んでいます。

*3. 定格出力2,000kW *4. 大河内賞は、公益財団法人 大河内記念会が毎年、生産工学、生産技術の研究開発、ならびに実施等に関する顕著な功績を表彰するもので、日本で最も権威ある賞のひとつです。

地球環境へ プラス “+”のチャレンジ

～より良い環境をつくるための
トヨタの取り組み～

人と自然が共生する 未来づくりへのチャレンジ



トヨタの工場では、
クルマと森をつくっています

自然と調和する工場をめざし、2008年に「工場の森づくり」がスタートしました。工場がある地域に昔から自生している樹木を調査し、ドングリから苗を育成。従業員とその家族、地域の方々5,000人が植樹を行い、約50,000本の木々が大きく育ちました。絶滅の恐れがある希少なサンショウクイなど、さまざまな鳥たちが羽休めに立ち寄っています。

トヨタ カローラ スポーツ 環境仕様		6AA-ZWE211H		3BA-NRE210H			3BA-NRE214H	
車両型式	L	1.797		1.196				
エンジン	総排気量	1.797						
駆動装置	駆動方式	前輪駆動方式			四輪駆動方式			
変速機	変速機	電気式無段変速機			CVT		6MT	
車両重量	kg	1,370	1,400	1,310	1,340	1,300	1,330	
WLTC	燃料消費率*1 (国土交通省審査値)	km/L	30.0	25.6	16.4	15.8	15.2	
	CO ₂ 排出量	g/km	77	91	142	147	153	
JC08	燃料消費率*1 (国土交通省審査値)	km/L	34.2	30.0	19.6	18.0	16.4	15.4
	CO ₂ 排出量	g/km	68	77	118	129	142	151
参考			「2020年度燃費基準*2」をクリアしています。		「平成27年度燃費基準*2」をクリアしています。		「平成27年度燃費基準*2」をクリアしています。	
排出ガス	認定レベルまたは適合規制 (国土交通省)		平成30年基準 排出ガス75% 低減レベル*3		平成30年基準排出ガス規制適合			
	認定レベル値 または適合規制値	CO/NMHC/ NOx	1.15/0.025/ 0.013		1.15/ 0.1/0.05			
車外騒音	加速/定常/近接*4	dB	72(規制値)/-/68		72(規制値)/-/73	72(規制値)/-/79	72(規制値)/-/71	
冷媒の種類	(GWP値*5)/使用量	g	HFO-1234yf(1*6)/470					
環境負荷物質削減	鉛	自工会2006年自主目標達成(1996年比1/10以下*7)						
	水銀	自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止*8)						
	カドミウム	自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)						
	六価クロム	自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)						
車室内VOC*9		自工会自主目標達成						
リサイクル関係	リサイクルし易い材料を使用した部品	TSOP*10	インストルメントパネル/バンパーカバー、センターピラーガーニッシュなど					
	樹脂、ゴム部品への材料表示	TPO*11	カウルルーバー、SRSカーテンシールドエアバッグ、ガラスランなど					
	リサイクル材の使用		あり フロアカーペット、サイレンサー類 タンクカバー					



*1. 燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。 *2. 省エネ法に基づき定められている燃費目標基準 *3. WLTCモード走行 *4. 平成28年騒音規制 *5. GWP: Global Warming Potential(地球温暖化係数) *6. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められております。 *7. 1996年乗用車の業界平均1,850g(バッテリーを除く)。 *8. 交通安全の観点で使用する部品(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスプレイランプ、室内壁光灯)を除く。 *9. VOC: Volatile Organic Compounds *10. TSOP: Toyota Super Olefin Polymer *11. TPO: Thermo Plastic Olefin